

ニュース さよなら原発 第95号 2021. 6. 1 発行



さよなら原発ひたちなか市実行委員会
連絡先：ひたちなか市馬渡 2824-63 佐藤 英一 TEL:029-273-4775
ホームページ：<http://sayonaragennpatu.wixsite.com/mysite> バックナンバーも掲載 ♪



原電が無茶すれば 被害は地元に



東海第二原発を動かすな、と 3 月に水戸裁判所が判決を下しましたね。

でも原電は、国の審査にはミスはないから安全だ、判決は間違っているとやっているようですが？

なるほど。2011 年 3 月におきた超巨大地震を科学者は予想できなかったし、水素爆発で建屋が吹っ飛ぶとは、原発関係者は夢にも思っていなかったようですから、判決はそこを踏まえて判断したわけですね。

本当ですね。

94 万人も原発 30 キロ圏内において、避難計画と避難体制がまったく出来ない。将来の見通しもたたないから住民を守れない危険があると明快だね。

判決は、審査にパスしても、今の科学では地震など自然現象の予測には限界があり、テロなど人的な問題も予測できないから、その備えとして避難計画の完備が必要と言っている。

それに、審査に合格していても、東電の柏崎刈羽原発では他人の ID カードで制御室に出入りしたり、故障した監視装置を放置したりと管理不行き届きによる大事故の危険性が生まれているわけだから、審査に合格すれば、すべて安全だと主張する原電は無茶すぎるよ。



審査に合格しても 原発の絶対的安全はない 原子力規制委員会が証明

…… 事故になれば 避難必要 ……

更田豊志委員長：「どんなに備えても事故はあるものとして考える」

「安全であるというようなことは絶対に申し上げない」 ×

公式文書では、「原子炉等規制法は、どのような異常事態が生じて、放射性物質が外部に絶対に放出されないといった達成不可能な安全性をいっているのではなく、相対的な安全性をいっている」

(実用発電用原子炉に係る新規規制基準の考え方について p 7～p 8) から要約

シンポジウム「実効性ある避難計画はできない」

7月10日(土) 午後1時30分開会

ひたちなか市文化会館 小ホール 130名に限定

基調講演 上岡直見(環境経済研究所長)

パネラー 市町村議、県議と多彩

主催：
原発いらぬ茨城アクション
東海第二原発差止訴訟団

上映会「サマシール 遺言 第6章」

7月24日(土) 午前10時から

ワークプラザ勝田 300円 予約制 100人

(原発事故から10年 帰還はできたが…飯館村民の苦悩の日々を追う)

古い「東海第二原発」は、廃炉が一番！
◇ 原発でできた放射能は、消滅する技術がなく、何万年も脅威です。
子どもたちに、安全な未来を
◇ 原発廃炉へ、廃炉技術を磨くことこそ重要です。

2019・・・2020・・・2021・・・2022年・・・12月・・・

再稼働へ工事を強行

～この頃～
県と6市村に
事前了解を
要求

工事完了

使用前検査合格
*使用前5号検査

営業運転

*核分裂で放射能が発生

原電社長 再稼働表明



大井川 知事

避難計画作成は、もっと
もっと時間がかかる。

「最も有効な避難計画は再稼働しないこと」

・・・桜井勝延さん(原発事故時の南相馬市長)

原発事故時、福島第一原発から北に 30 キロ圏の南相馬市長として苦勞された桜井さんが 5 月 19 日、那珂市議会の勉強会で講演。当時を振り返りつつ力を込めました。

「最も重要なのは市民の命を守ること」

「避難計画は機能しない」

「最も有効な避難計画は再稼働しないこと」と



講師

元原電理事・社長室長 北村俊郎氏の後悔

(福島第一で東電は)「外部に放射能が大量に放出されるような事態を考えずに、その手前で原子炉は確実に停止し、」「ことが起きなければ考えなくても良いというムシのいい考え方をしてしまった」(平凡社新書「原発推進者の無念」p235) 事故は起きないと豪語している原電は、この言葉をどう聞くだろうか。

ひたちなか市民の

東海第二原発への 声 声 声

津田 男性経営者 (70 歳代)

経営者：東海第二再稼働反対？ 私も反対だね。絶対反対では無いんだが、被害の賠償があいまい過ぎてとても賛成できない。しかも、福一原発事故では、事故発生元の東電の経営責任が全く問われない。

会員：東海第二の事故では、ぼう大な補償が必要になるのに資力がなく国の税金だのみです。原電はそれを当然と考えています。 ↗

経営者：事故の規模を明らかにしない、避難先もあいまい、移住する事だって想定しなければならないのに、補償の詳細が不明だ。なのに再稼働するというのは強引としか言いようがない。

会員：全くです。でも再稼働には周辺 6 市村長の同意が必要です。地元首長さんに声をかけ励ましましょう。きっと力になります。

経営者：ありがとう。

ニュースの配り手と募金のお願い

ご協力に感謝します、引き続きご支援をお願いします。最寄りの会員または1面上部の連絡先(佐藤)に連絡を。詳しくはその際に。

「東海第二を動かすなんてとんでもない。」
「原発なくすのに、保守も革新も、与党も野党も関係ない。」
(小泉元首相 水戸市・日立市の講演で)

